

入学時点における就職先希望地域と 実際の就職先地域の比較分析

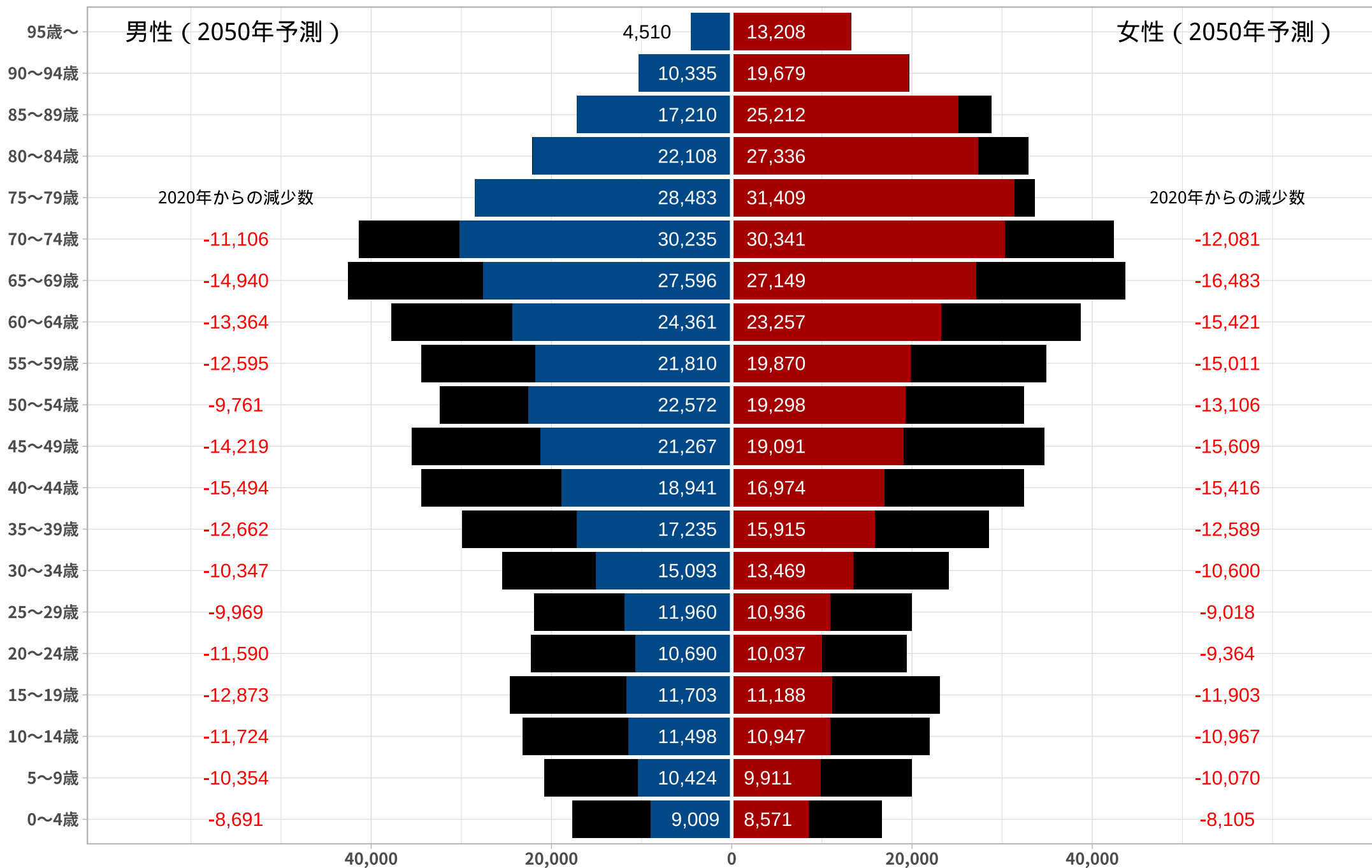
藤原 宏司 松坂 暢浩 山本 美奈子
山形大学

Saturday, August 31, 2024

2024年度日本キャリアデザイン学会第20回研究大会

山形県の人口ピラミッド（5歳階級）：2050年時点の予測

2020年からの人口減少数を黒塗り部分として表示



今日の内容

1. 地方国立大学と地方創生
2. 【情報提供】 入学者の傾向から見る地方国立大学
3. 調査方法と分析結果
4. 考察とまとめ

地方国立大学と地方創生（1）

■ 地方国立大学とは

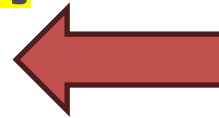
- 東京圏（東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県）以外に所在し、**地方創生への貢献**を主なミッションの1つとする国立大学

（出典：地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議）

- 「**地方創生に資する魅力ある地方大学の実現**」が求められるようになった

■ 地域から求められていることの一例

- 卒業生における**地域定着率の向上**



■ 日本国憲法：「居住・移転および職業選択の自由」を保障

- 学生自身による「**地域就職意識**」の涵養が必要
- 強制はするべきではない

地方国立大学と地方創生（2）

■ 就職支援担当者の経験から

- 就職活動開始時点で、
既に「地域外就職(他都道府県での就職)」を決めている**学生の意思を変えることは困難**

■ 地域定着率の向上を目的とした教育？

- キャリア教育の目標（文部科学省, 2021）

「学生が卒業後**自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を**図るために必要な能力の育成」とは相容れない面も

■ 先ずは現状把握が重要 → 調査テーマ

- 「**入学時点における就職先希望地域**」と「**実際の就職先地域**」の比較分析
- IR(Institutional Research)オフィスと
キャリアサポートセンターによる**合同プロジェクト**

【情報提供】入学者の傾向から見る地方国立大学

- 地方国立大学は「**県内高校出身者比率**」を基準に、2つのグループに分類できる
 1. 県内高校出身者比率が**比較的高い**大学群
 - ・ 例：琉球大学(67%)、鹿児島大学(48%)、茨城大学(47%)、弘前大学(42%)
 2. 県内高校出身者比率が**(比較的)低い**大学群
 - ・ 例：高知大学(24%)、**山形大学(23%)**、滋賀大学(22%)、鳥取大学(18%)
- **山形大学の特徴**
 - 県内高校出身者比率が**低い**
 - 近隣に**政令指定都市**がある
 - **大学所在県(山形県)からの入学者数が最多数を占めない**

【試験公開中】山形大学 OIRE Power BI Reports

例

大学基本情報：個別大学 vs. 学部分野 vs. 出身高校の所在地

注意：学校基本調査とデータ数が異なる場合があります。

大学の所在地
06山形県

大学名
山形大学

国立/公立
すべて

分野名
すべて

年度
2023

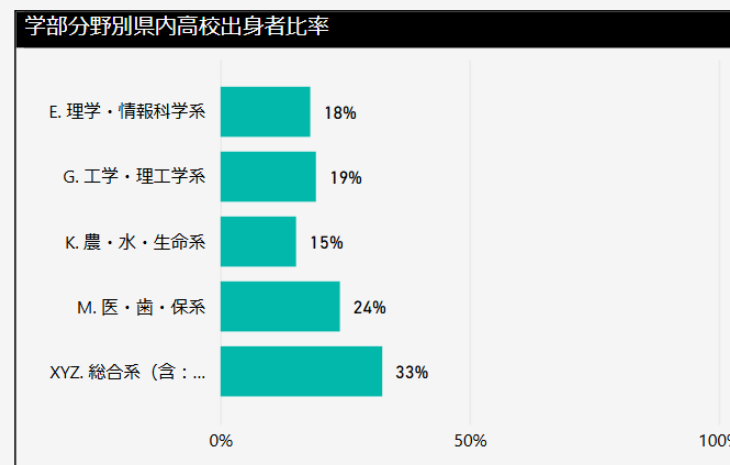
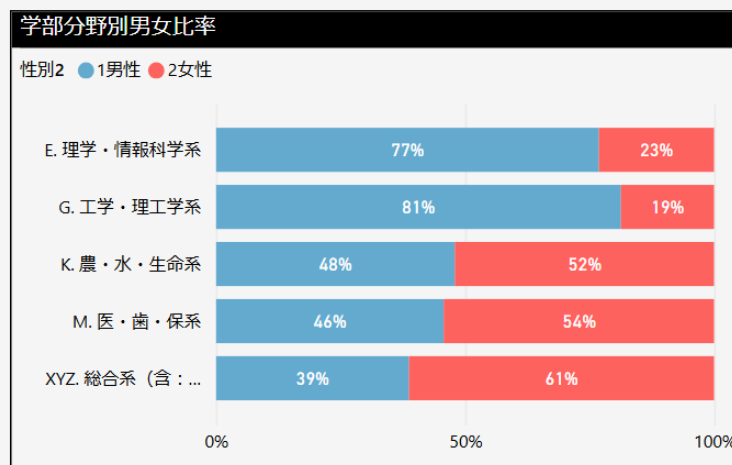
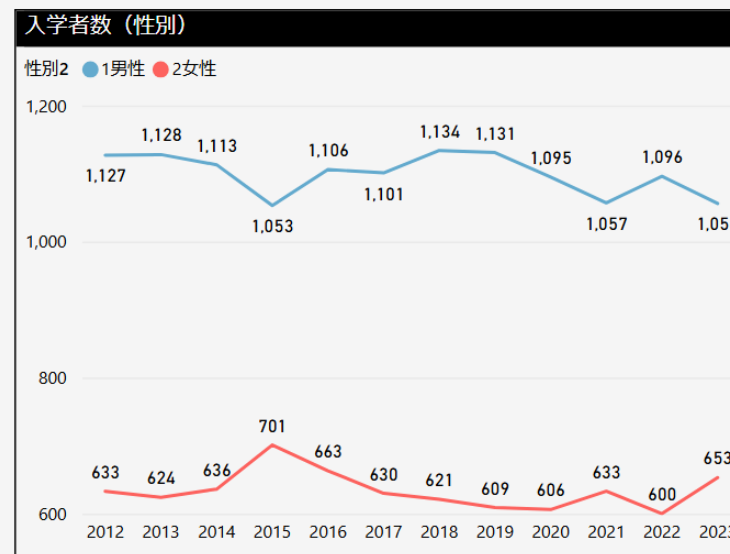
性別
すべて

女子学生比率
38%

県内高校出身者比率
23%

出身高校の所在地別入学者数

出身高校の所在地	15	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
06山形県	409	409	410	428	404	401	417	385	391
04宮城県	382	362	398	374	374	378	397	447	435
07福島県	119	144	136	156	127	122	105	110	114
09栃木県	89	88	100	93	91	103	83	95	95
15新潟県	103	80	73	86	96	85	72	90	96
03岩手県	86	80	68	75	69	84	81	58	80
02青森県	64	55	54	65	59	41	68	51	53
22静岡県	68	58	53	59	52	44	61	43	51
08茨城県	45	55	50	52	52	53	47	63	44
05秋田県	58	53	63	51	50	42	37	34	36
01北海道	50	55	42	56	55	52	36	37	40
23愛知県	43	53	31	36	40	52	34	44	21
13東京都	36	48	46	34	45	37	44	30	42
10群馬県	35	27	30	25	39	21	28	22	25
合計	754	1,769	1,731	1,755	1,740	1,701	1,690	1,696	1,709



Note: 分野区分は、大学基本情報に従った。
山形大学の場合は以下の通り

- 人文社会科学部 = A. 人文・語学系 or XYZ. 総合系 (2017から)
- 地域教育文化学部 = XYZ. 総合系
- 理学部 = E. 理学・情報科学系
- 医学部 = M. 医・歯・保系
- 工学部 = G. 工学・理工学系
- 農学部 = K. 農・水・生命系

作成者：藤原宏司（山形大学）

アクセス方法



The screenshot shows a Google search interface. The search bar contains the text "OIRE". A red arrow points from the right towards the search bar. Below the search bar, the search results are displayed. The top result is for "山形大学OIRE" with the URL "https://ir.yamagata-u.ac.jp". A red arrow points from the right towards this result. Below the main result, there are several links: "OIRE Reports", "IR担当者向け実践プログラム", "活動内容", "お知らせ", and "OIREについて". A dashed red arrow points from the right towards the "OIRE Reports" link. At the bottom of the search results, there is a link "yamagata-u.ac.jp からの検索結果 »".

Google OIRE

すべて 画像 ショッピング 動画 ニュース 地図 ウェブ もっと見る ツール

山形大学OIRE
https://ir.yamagata-u.ac.jp

OIRE | 山形大学 教育推進機構 教育企画・教学マネジメント部門

山形大学 Office of Institutional Research & Effectivenessのウェブサイトです。IRやIEを中心とした活動を広く一般に伝えていきます。

OIRE Reports
山形大学 Office of Institutional Research & Effectivenessのウェ...

IR担当者向け実践プログラム
大学等の高等教育機関に勤務している方を対象に開講する、IR...

活動内容
山形大学 Office of Institutional Research & Effectivenessのウェ...

お知らせ
山形大学 Office of Institutional Research & Effectivenessのウェ...

OIREについて
山形大学 Office of Institutional Research & Effectivenessのウェ...

yamagata-u.ac.jp からの検索結果 »

調査方法

■ 入学時点における就職先希望地域

データ収集方法: 入学者アンケート

- 2017年度から「自動記名形式」で実施
(担当: IRオフィス、全14問)
- 入学オリエンテーション時に実施: 回答率 = 99%
- **2019年度:**
入学時点での進路希望に関する2つの設問を追加

■ 実際の就職先地域

データ収集方法: 学校基本調査対応業務

- **2023年5月:**
2019年度入学生における卒業後の動向把握

「**2019年度入学生 → 2022年度学部卒就職者**」を対象とした
「**入学時点における就職先希望地域**」と「**実際の就職先地域**」の比較分析が可能に

Limitations

- 入学者アンケート：学生のスマートフォンを使った回答
→ **システムの制限**により、回答選択肢を**5つ**しか用意できない

- 例：追加した「入学時点での進路希望に関する設問」の回答選択肢

問13：現時点における卒業後の進路希望を教えてください。←

（目的：松坂准教授から追加依頼があったもの。卒業時の就職先とクロスし分析するため）

←

1. 会社員（民間企業）←
2. 公務員、学校教員、団体職員←
3. 医師、看護師等←
4. 進学←
5. 上記以外←

問14：現時点における卒業後の希望勤務地を教えてください。←

（目的：問13に同じ）←

←

1. 山形県←
2. 山形県以外の東北地方（青森、秋田、岩手、宮城、福島）←
3. 首都圏（東京、千葉、埼玉、神奈川）←
4. 上記以外の都道府県、または海外←
5. 決まっていない←

- 回答選択肢が充分ではないという**課題を認識**したうえで、**プロジェクトを動かすことに注力**した

分析結果: Power BI

1. Chord Diagram

- a. 山形県出身者の過半数が地元に残っている
(卒業年度のみに注目した結果)

2. 出身地域 vs. 特定就職先地域

- a. 民間企業に就職している学生が、予想よりも多かった

3. 入学時点における希望勤務地域と実際の山形県内就職率

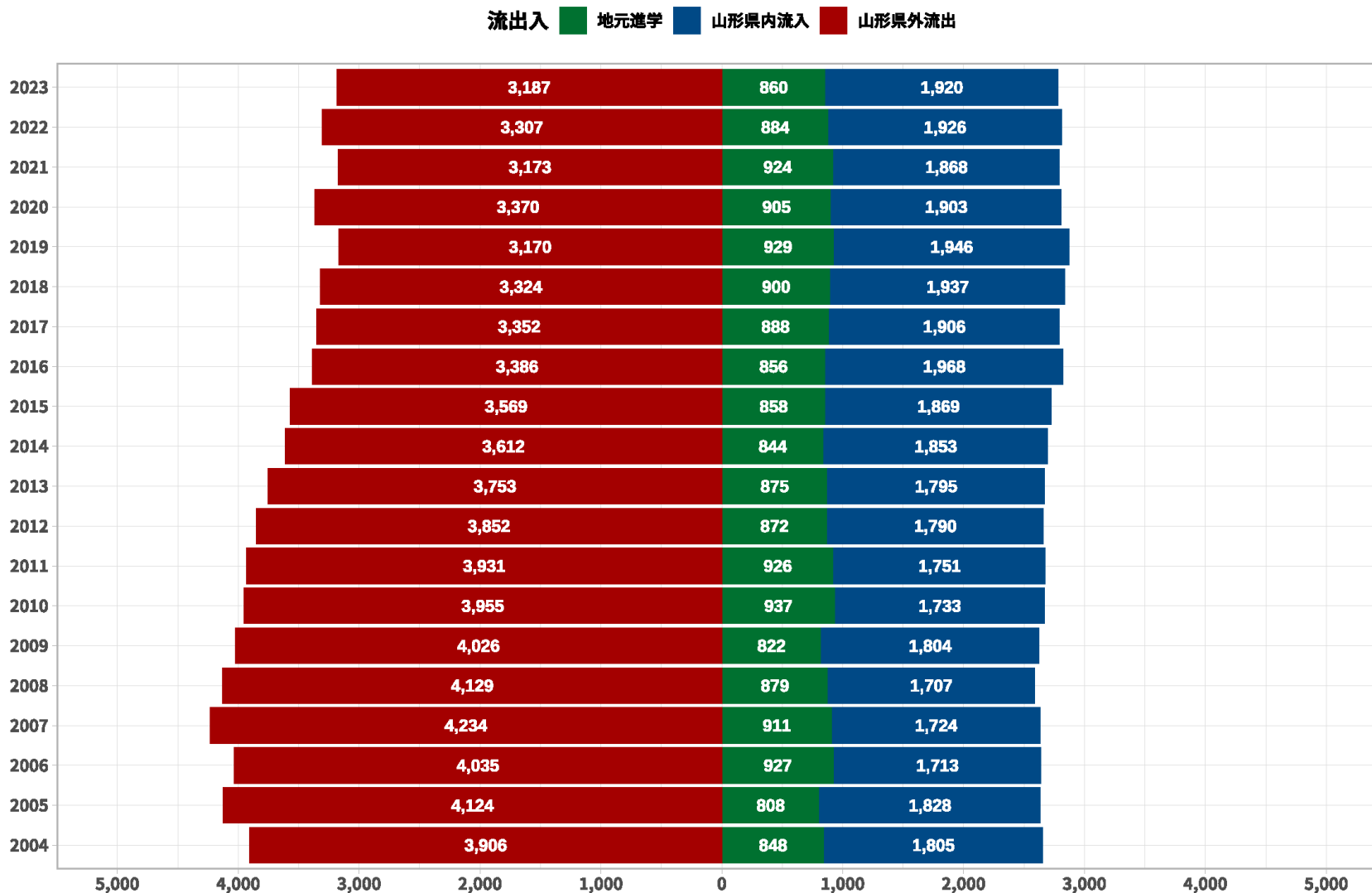
表2 入学時点における希望勤務地域と実際の山形県内就職率

設問：入学時点における希望勤務地	回答率（希望勤務地）	回答者における山形県内就職率
未定	35%	17%
東北地方（除：山形県）	25%	10%
山形県	18%	72%
首都圏	11%	7%
上記以外	11%	8%
	100%	23%

- 入学時点で「山形県内就職」と回答した学生の72%が実際に「山形県内就職」していた
- 「山形県内出身者」かつ入学時点で「山形県内就職」と回答した学生の77%が実際に「山形県内就職」していた
- 入学時点での希望勤務地が一番重要なファクター？

考察

大学進学者：地元進学・山形県内流入学生数 vs. 山形県外流出学生数



■ 山形県の課題

1. 地元進学者数が横ばい
2. 県外流出者 > 県内大学入学者
3. 県内大学の入学者定員が大学進学者数に比べて極端に少ない

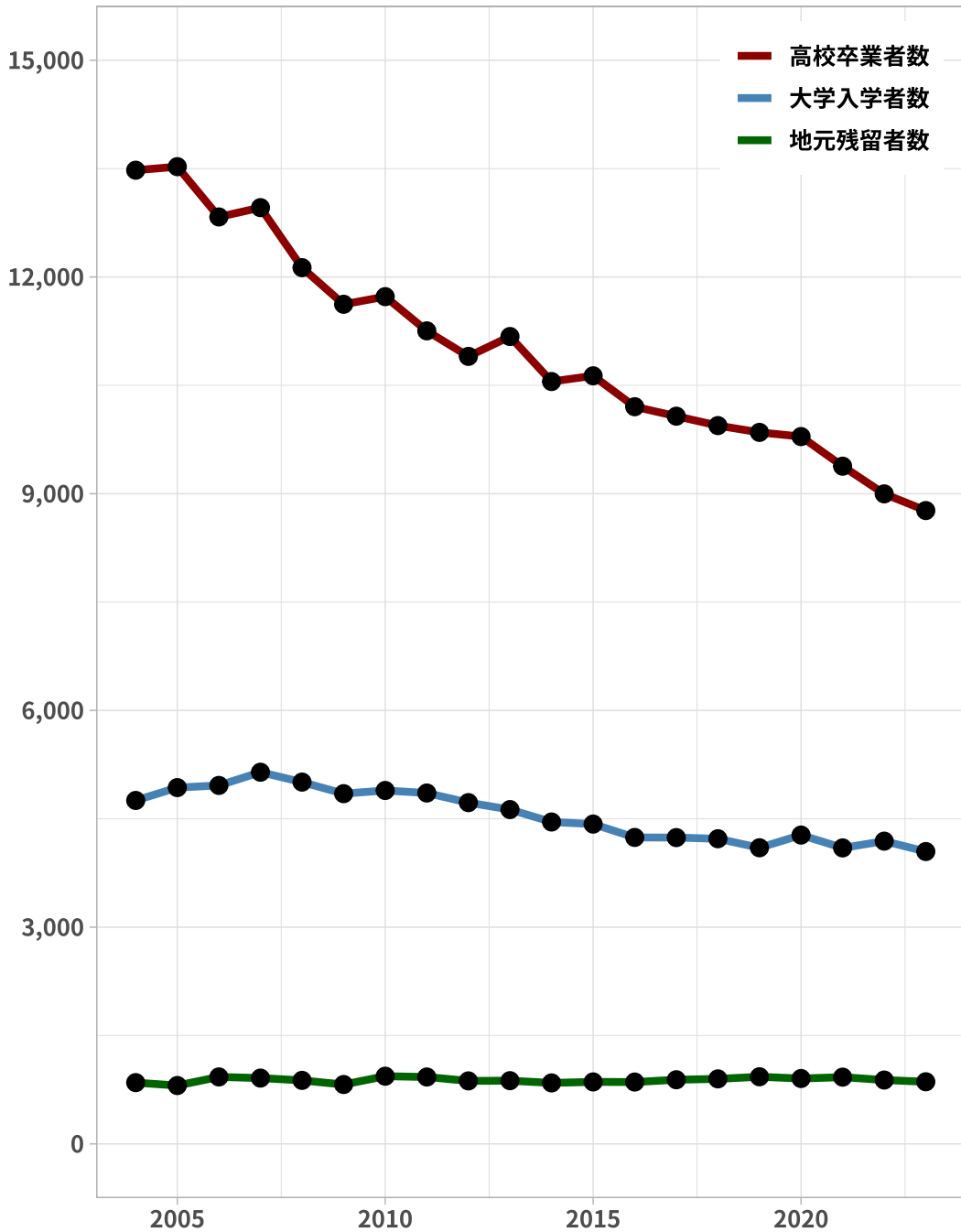
→ 若者が自然流出する構造

まとめ

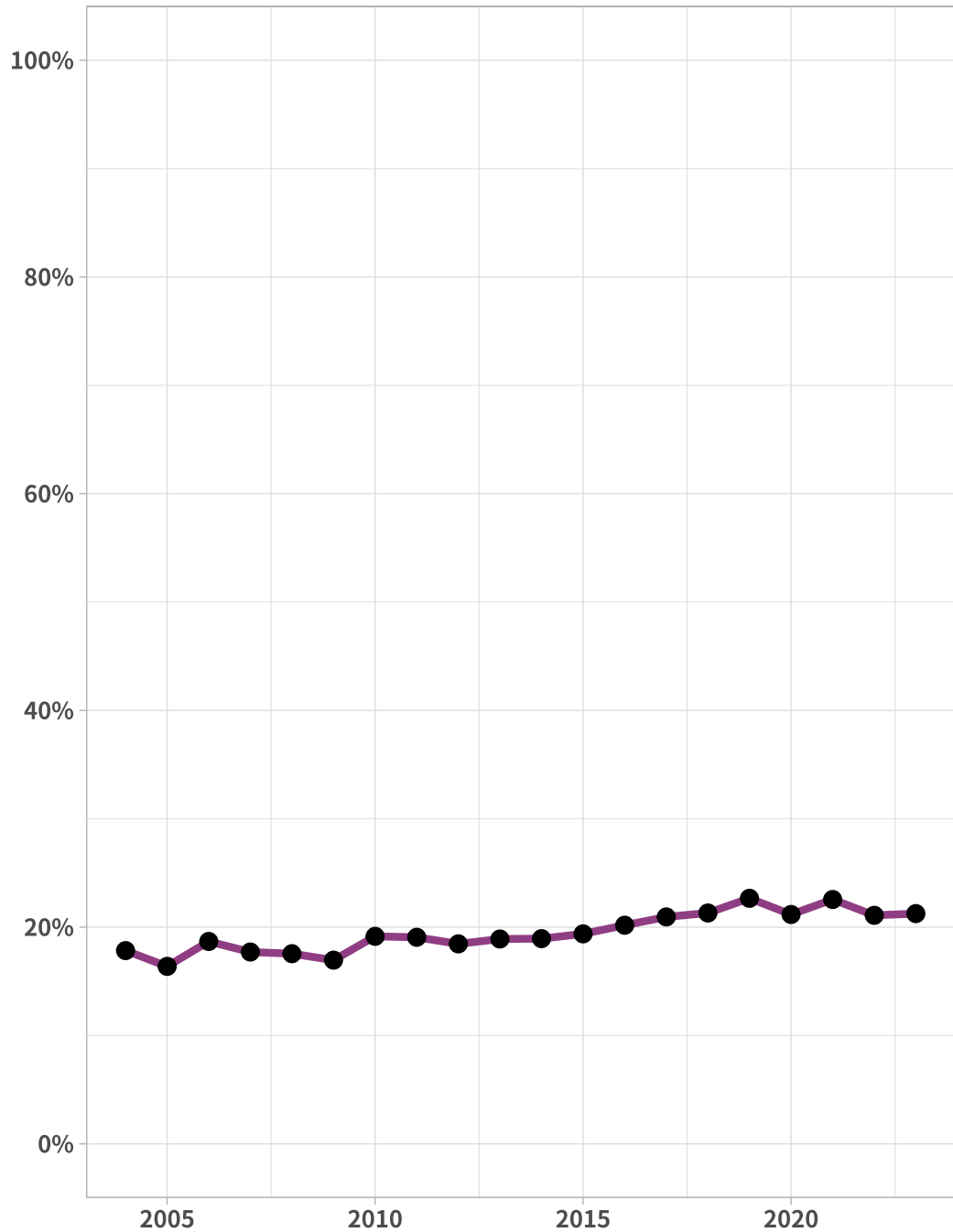
- 地方創生は、一地方国立大学だけで何とかなる問題ではなく、地域全体で考えるべき喫緊の課題である
- 大学での教育を通じて、「地域定着」を促すのは、かなり難しいと言わざるを得ない
- 早期(小中高)の「地元理解」に関する教育が重要かもしれない
 - 明日、本学の松坂先生が「高校からの地元理解」に関する発表を行います

山形県内高校卒業者における大学入学者数と地元残留者数：2004年 - 2023年

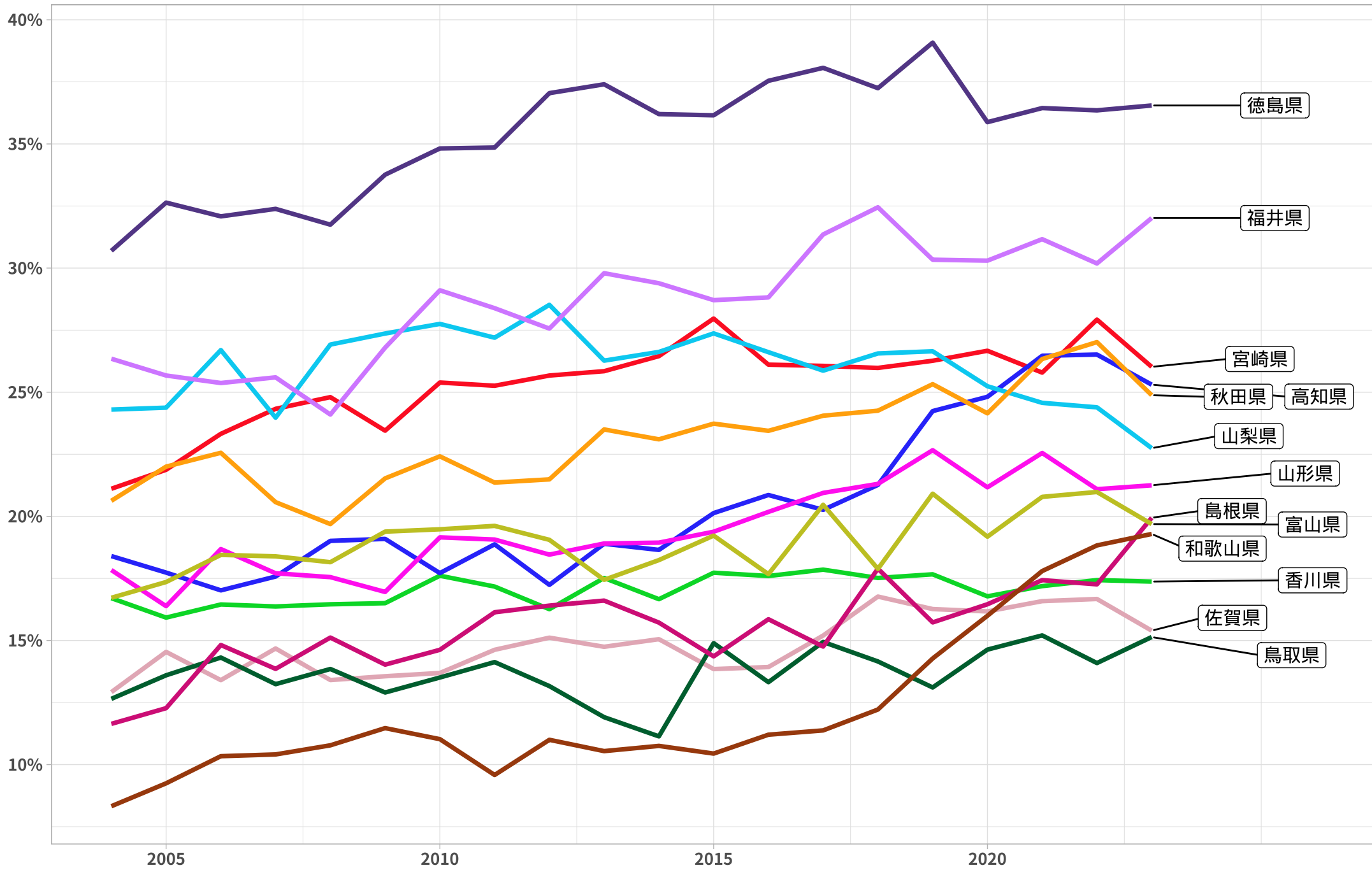
高校卒業者、大学入学者、地元残留者数



地元残留率



2024年人口110万人以下の県を対象とした大学入学者における地元残留率：2004年 - 2023年



データ元：学校基本調査

作成：藤原宏司（山形大学）

山形県の2024年1月1日時点での人口は「1,027,509人」で図内では2番目の人口となる。

THANK YOU!

ANY QUESTIONS, COMMENTS OR SUGGESTIONS?

藤原 宏司 | Koji Fujiwara, Ph.D.

kfujiwara@cc.yamagata-u.ac.jp